

ルーミス米国投資適格債券ファンド [年2回決算型]

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドはマザーファンドへの投資を通じて、米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ることを目的として、運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年10月21日～2026年4月20日

第5期	決算日：2026年4月20日	
第5期末 (2026年4月20日)	基準価額	11,665円
	純資産総額	26,445百万円
第5期	騰落率	5.5%
	分配金合計	30円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

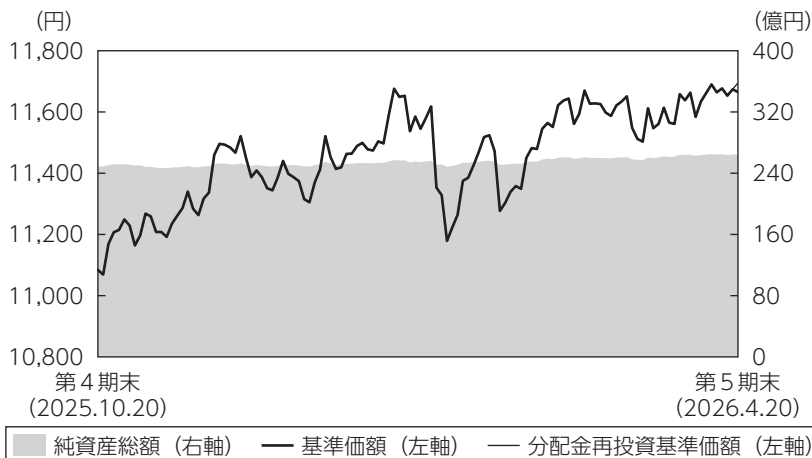
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第5期首： 11,084円
 第5期末： 11,665円
 (既払分配金30円)
 騰落率： 5.5%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

「ルームス米国投資適格債券マザーファンド」受益証券への投資を通じて、米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行った結果、米社債市場は概ね横ばいで推移したものの、円安ドル高が進行したことなどから基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2025年10月21日 ～2026年4月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.466%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,459円です。
(投信会社)	(28)	(0.247)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(22)	(0.192)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.014	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.012)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	55	0.480	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

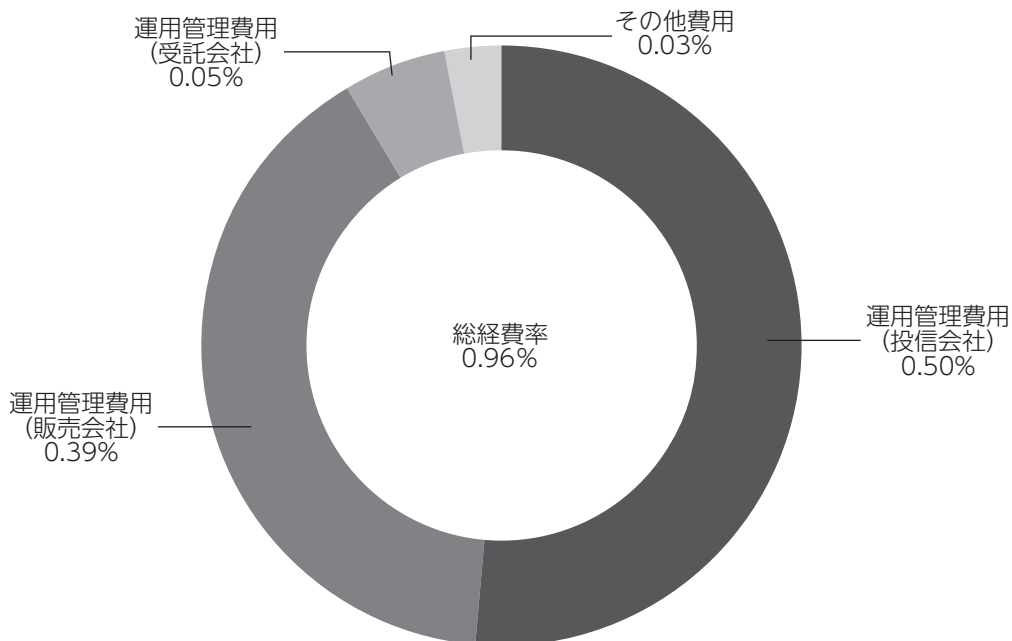
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.96%です。



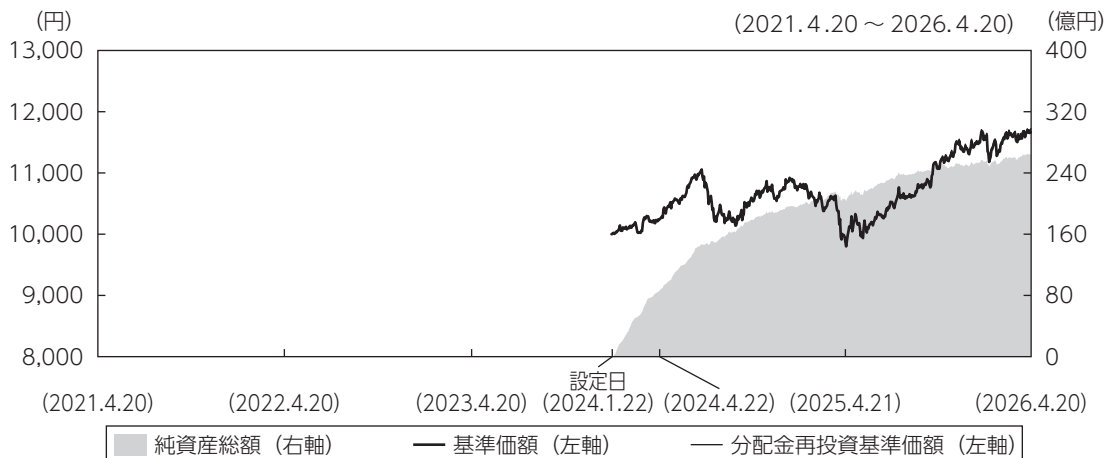
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

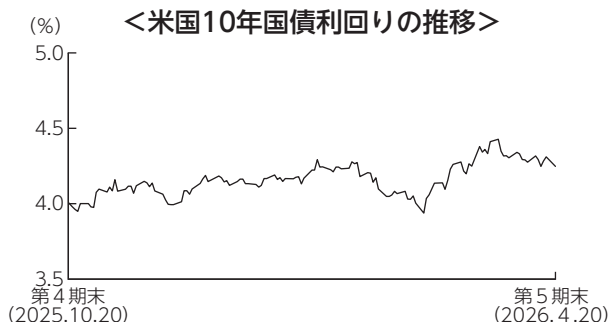


- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

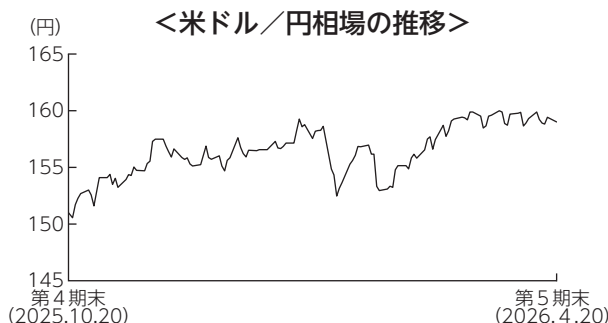
		2024年1月22日 設定日	2024年4月22日 決算日	2025年4月21日 決算日	2026年4月20日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	10,249	9,874	11,665
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	60
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	2.5	△3.7	18.8
参考指数の騰落率	(%)	—	2.7	△2.2	17.2
純資産総額	(百万円)	1	8,629	20,490	26,445

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はブルームバーグ・米国政府ノクレジット指数(為替ノーヘッジ・円ベース)です。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。
- (注3) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して前営業日の値を用いています (以下同じ)。

投資環境



(注) 値は前営業日のものを用いています。



米回国債市場は下落（利回りは上昇）しました。作成期初から2月にかけては、米国のインフレ指標の粘着性が意識される一方でリスク回避姿勢が強まる場面も見られ、もみ合いで推移しました。作成期末にかけては、米国によるイランへの武力攻撃を受けた原油価格の上昇によりインフレ再燃への警戒感が強まり、下落しました。米国の投資適格社債市場はスプレッドが概ね横ばいで推移したことに加え、クーポン収入が金利上昇による価格下落を相殺したため、概ね横ばいとなりました。

米ドルは対円で上昇しました。作成期初から1月中旬にかけては、日本の財政拡張政策への懸念や米金利上昇による日米金利差の拡大が意識されたことなどから上昇しました。その後は、為替介入への警戒感が強まったことなどを背景に一時的に下落する場面がみられましたが、作成期末にかけては中東情勢の不透明感が強まる中で有事のドル買い需要が高まり、再び上昇に転じ、作成期を通じて上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」 受益証券の組入比率を高位に維持しました。なお、実質組入外貨建資産に対して為替ヘッジを行いませんでした。

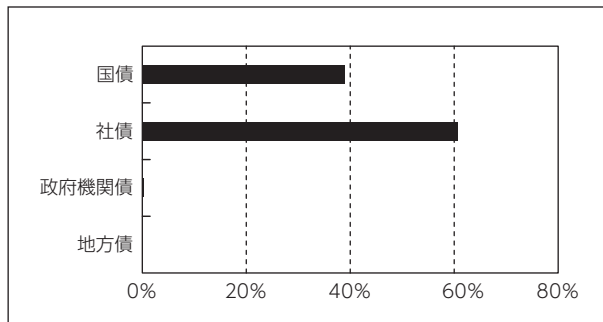
●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行い、個別銘柄の選別により分散されたポートフォリオの構築を行いました。当期末時点における債券の組入比率は、国債を40%程度、普通社債を60%程度とし、組入比率を高位に維持しました。ファンド全体の加重平均格付^(*)については、当ファンドの運用の基本方針に従い、A格以上を維持しました。上記の通り運用を行った結果、米国社債市場は概ね横ばいとなったものの、円安ドル高の進行などから基準価額は上昇しました。

(*) 「当ファンドの概要」をご参照ください。

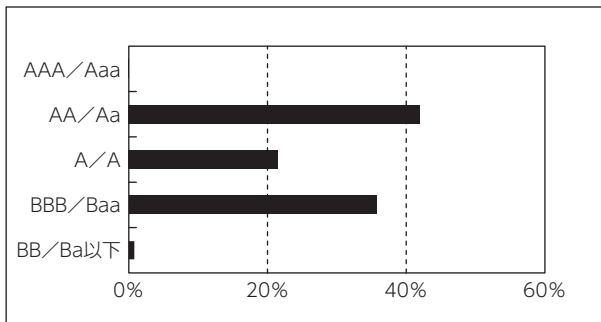
期末

【種別保有比率】



(注) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%として算出したものを用いています。

【格付別保有比率】

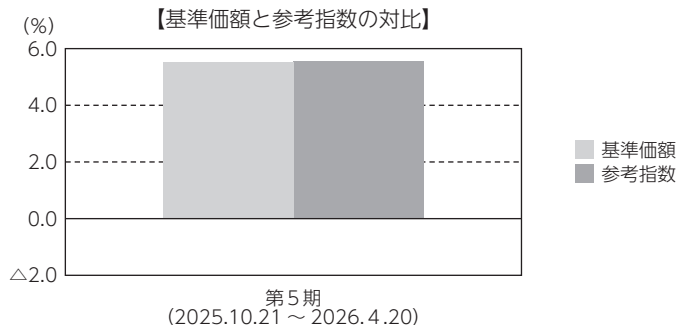


(注1) 比率はルーミス米国投資適格債券マザーファンドの債券部分を100%として算出したものを用いています。

(注2) 格付はS & P、Moody'sの高いほうの格付を採用しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2025年10月21日 ～2026年4月20日
当期分配金（税引前）	30円
対基準価額比率	0.26%
当期の収益	30円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	1,664円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」 受益証券の組入比率を高位に維持する方針です。

●ルーミス米国投資適格債券マザーファンド

米国は、景気は堅調とみられるものの、対イラン軍事作戦を背景とする地政学的リスクがインフレ再燃や景気の重荷となる可能性に留意が必要です。F R B（米連邦準備理事会）は、各種経済指標を見極めながら、利上げと利下げの双方向を含め、今後の政策運営を慎重に検討すると見えています。

引き続き発行体のクオリティを重視しつつ米国の米ドル建て投資適格債券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指します。

お知らせ

約款変更のお知らせ

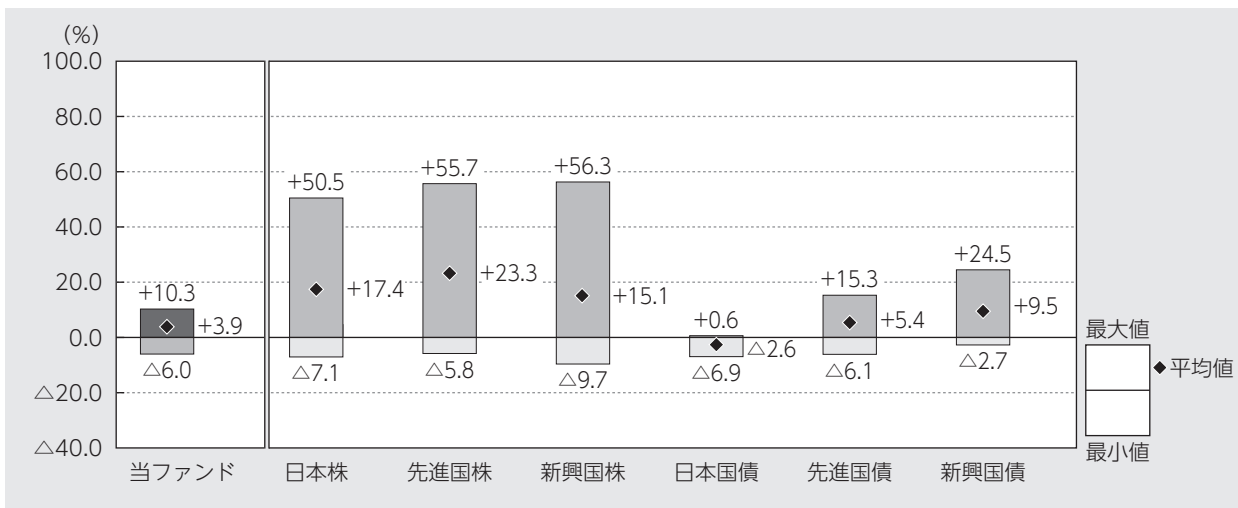
■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「ルーミス米国投資適格債券マザーファンド」において、「一般社団法人投資信託協会」の名称変更に伴い、約款における記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更しました。

(2026年4月1日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2024年1月22日から2044年4月20日までです。	
運用方針	主として米国の米ドル建て公社債に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。	
主要投資対象	ルーミス米国投資適格債券ファンド [年2回決算型]	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ルーミス米国投資適格債券マザーファンド	主として米国の米ドル建て公社債を主要投資対象とします。
運用方法	<p>投資を行う公社債の格付けについては、原則として取得時においてBBB-（Baa3）格以上の格付けを有する公社債に投資を行うとともに、ファンド全体の加重平均格付けをA-（A3）格以上に維持します。</p> <p>格付けは、S & Pグローバル・レーティング（S & P社）もしくはムーディーズ・インベスターズ・サービス（Moody's社）による格付けを基準とします。</p> <p>※「加重平均格付け」とは、各組入公社債等の格付けを、それぞれの公社債等の組入比率に応じて加重平均して算出した格付けであり、ファンドにかかる信用格付けではありません。</p> <p>実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>公社債の組入比率は、高位に保つことを基本とします。</p> <p>ルーミス米国投資適格債券マザーファンドにおける円の余資運用以外の運用の指図に関する権限を、ルーミス・セイレス・アンド・カンパニー・エル・ピーに委託します。</p>	
分配方針	<p>毎決算時（毎年4月および10月の各20日（休業日の場合は翌営業日））に、原則として繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の全額を分配対象額とします。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して、決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。</p>	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2025年1月~2026年3月

代表的な資産クラス : 2021年4月~2026年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 (2026年4月20日現在)

◆組入ファンド等

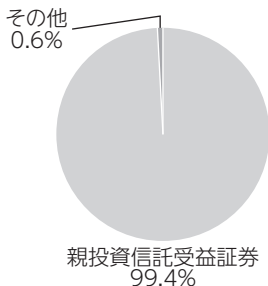
(組入ファンド数：1ファンド)

	当期末
	2026年4月20日
ルーミス米国投資適格債券マザーファンド	99.4%
その他	0.6

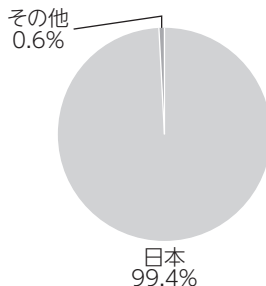
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

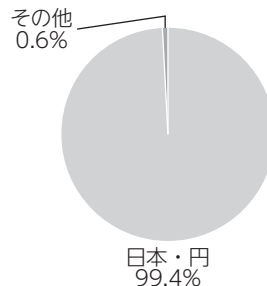
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

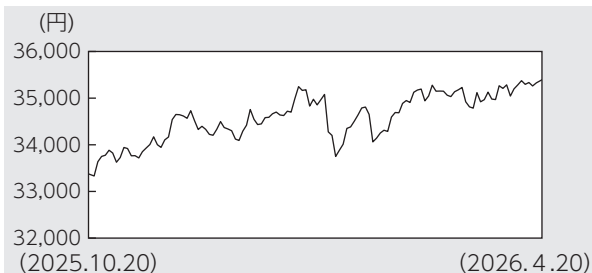
項目	当期末
	2026年4月20日
純資産総額	26,445,991,383円
受益権総口数	22,671,436,053口
1万口当たり基準価額	11,665円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,359,025,405円、同解約元本額は2,122,782,730円です。

組入ファンドの概要

【ルーミス米国投資適格債券マザーファンド】（計算期間 2025年10月21日～2026年4月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

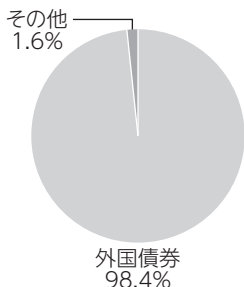
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 3.5 09/30/26	アメリカ・ドル	4.4%
US T N/B 4.0 04/30/32	アメリカ・ドル	3.7
US T N/B 4.125 02/15/36	アメリカ・ドル	2.4
US T N/B 4.125 05/31/32	アメリカ・ドル	2.2
US T N/B 3.875 05/15/43	アメリカ・ドル	1.7
US T N/B 3.75 10/31/32	アメリカ・ドル	1.2
US T N/B 3.0 11/15/44	アメリカ・ドル	1.1
US T N/B 4.0 07/31/32	アメリカ・ドル	1.0
US T N/B 3.625 05/15/53	アメリカ・ドル	1.0
US T N/B 4.625 02/15/46	アメリカ・ドル	1.0
組入銘柄数	472銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

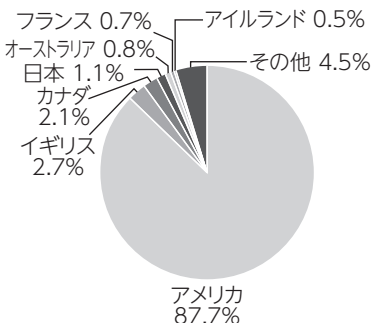
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	4円	0.012%
(その他)	(4)	(0.012)
合計	4	0.012

期中の平均基準価額は34,594円です。

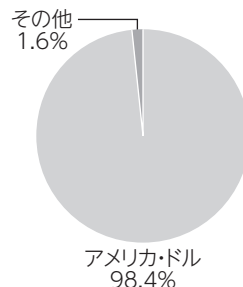
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドの参考指数について>

●ブルームバーグ・米国政府／クレジット指数（為替ノーヘッジ・円ベース）

「Bloomberg®」およびブルームバーグ・米国政府／クレジット指数（為替ノーヘッジ・円ベース）は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limited（以下「BISL」）をはじめとする関連会社（以下、総称して「ブルームバーグ」）のサービスマークであり、アセットマネジメントOne(株)による特定の目的での使用のために使用許諾されています。ブルームバーグはアセットマネジメントOne(株)とは提携しておらず、また、ルーミス米国投資適格債券ファンド [年2回決算型] を承認、支持、レビュー、推奨するものではありません。ブルームバーグは、ルーミス米国投資適格債券ファンド [年2回決算型] に関連するいかなるデータもしくは情報の適時性、正確性、または完全性についても保証しません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広く網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

